

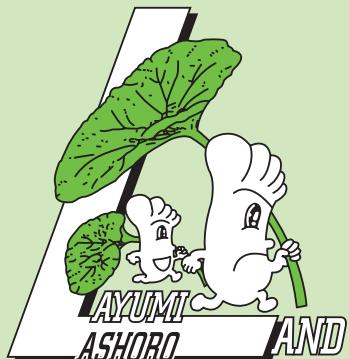


# あしょろ 議会だより

No.217

2024.5

北海道足寄郡  
足寄町議会発行



条例等の審議内容・予算審査特別委員会 2～8ページ

一般質問（4議員が登壇） 9～12ページ

委員会レポート 13～15ページ

議会報告会・町民との意見交換会 16～17ページ

議会の動きなど 18ページ

第1回定例会

令和6年度

一般会計  
予算

101億4,105万1千円

第1回定例会は3月5日から22日までの18日間の日程で開催し（6～12日、15～17日、20日は休会）、初日は、議長の諸般の報告の後、町長から行政報告、町長、教育長から行政執行方針について報告を受けました。次に、報告1件、人事1件、条例制定1件、条例改正5件、その他2件のうち1件を審議し、原案どおり同意、可決しました。その他の残り1件を文教厚生常任委員会に付託し、請願1件を総務産業常任委員会に付託しました。

13日は、総務産業、文教厚生常任委員会より所管事務調査について報告を受け、文教厚生常任委員会に付託していたその他1件の審議結果の報告を受け、原案のとおり可決した後、4名の議員による一般質問（関連記事9～12頁）を行いました。

14日は、専決処分3件の報告を受けた後、令和5年度補正予算の提案説明を受け、原案どおり可決しました。その後、令和6年度予算の提案説明を受けた後、予算審査特別委員会（委員長・多治見亮一、関連記事6～8頁）を設置しました。

18日は総務産業常任委員会に付託していた請願1件の審議結果の報告を受け、原案のとおり可決した後、休憩中に予算審査特別委員会で予算審議を行いました。

19日は意見書案1件を審議し、原案のとおり可決した後、休憩中に予算審査特別委員会で予算審議を行い、追加議事日程において予算審査特別委員会の審議結果の報告を受け、報告のとおり各会計の新年度予算を原案どおり可決しました。次に、議会議員の請負の状況の公表に関する条例の会議案1件、選挙1件を可決、決定した後、常任委員会より提出があつた所管事務調査期限の延期などを原案どおり承認し、会期を3日残して閉会しました。

◆専決処分の報告  
◆橋梁長寿命化修繕（ポンズ  
橋・一の沢橋）工事請負契  
約の変更

◆橋梁長寿命化修繕（上利別  
橋）工事請負契  
約の変更

◆固定資産評価審査委員会委  
員の選任

人  
事

報  
告

幌内橋（工事請負契約の変  
更）

◆予定価格1千万円以上の工  
事又は製造の請負契約締結  
議会総合条例の規定により  
議会に報告するもの。

◆美盛足寄線外1路線整備工  
事請負契約の変更  
免責事由又は工事内容の変  
更に伴う契約金額等の変更

選  
挙

◆選管委員・補充員を選挙  
提出者 足寄町農民同盟  
執行委員長 萩島 隆  
◆将来にわたり持続可能な農  
業の実現を図る食料・農業・  
農村基本法改正等に関する  
請願書

◆将来にわたり持続可能な農  
業の実現を図る食料・農業・  
農村基本法改正等に関する  
意見書

◆選管委員・補充員を選挙  
了となる選挙管理委員会委員  
及び補充員は地方自治法の規

委員長 多治見亮一  
総務産業常任委員会

定により選挙を行い、次の方  
が当選されました。

◆選挙管理委員

・大野雅司さん（西町5丁目）  
・日裏修身さん（旭町3丁目）  
・浅見優次郎さん（南2条5丁目）  
・鳥羽昇子さん（鷺府）

◆選挙管理委員補充員

①久保正光さん（北1条4丁目）  
②遠國直美さん（平和）  
③八重樫則子さん（芽登本町）  
④澤山由紀夫さん（西町5丁目）  
(○内数字は補充順位)

請  
願



・市街地コミュニティバス運行管理業務	838万1千円
・移住等サポート業務	573万3千円
・住環境・店舗等整備補助金	4000万円
・まちづくり活動支援補助金	1500万円
・北海道U-IJターン新規就業支援事業移住支援金	2000万円
・結婚新生活支援事業補助金	2100万円
・ふるさと納税返礼品開発支援補助金	1000万円
・羊ホルモンのスパイス炒め「タカタク」(石田めん羊牧場)	短角牛の小間切れ(北十勝ファーム)
令和5年度に開発された返礼品	



・事務機器更新工事	306万2千円
・銀河ホール非常照明バッテリー更新工事	391万6千円
・銀河ホール防火シャッター改修工事	805万6千円
・銀河ホール空調設備整備工事	1430万3千円
・地デジ無線共聴施設送受信機更新工事	952万6千円
・戸籍総合システム改修業務	302万5千円
・障害者地域生活支援センター管理運営業務	2226万2千円
・足寄町社会福祉協議会補助金	3666万4千円
・障害者自立支援給付費	3億3878万8千円
・障害者医療費	1699万6千円
・患者輸送車	1614万8千円
・障害者地域生活支援給付費	1544万2千円
・療養給付費負担金	1億1104万1千円
・芽登健康増進センター外壁改修工事	2757万7千円
・温泉浴場施設換気設備改修工事	167万5千円
・一般廃棄物収集運搬業務	6546万4千円
・十勝圏複合事務組合し尿負担金	5億4697万5千円
・農業担い手育成支援事業	3224万9千円
・防衛施設周辺農業用施設設置事業補助金	1億円
・西足寄地区配水管改修工事	1322万2千円
・中足寄地区配水管改修工事	475万2千円
・道営水利施設等保全高度化事業(営農用水)	49881万1千円
・農業関係施設調査設計業務	4200万円
・軽費老人ホーム経営安定資金補助金	800万円
・ふるさと足寄応援基金積立金	6121万8千円
・クラウドシステム使用料	4000万6千円
・銀河ホール排煙設備修繕工事	1334万1千円

## 令和6年度 各会計の当初予算額

(単位:千円)

会計別	歳入歳出予算額		前年度増減(%)
	令和5年度	令和6年度	
一般会計	9,307,864	10,141,051	9.0
特別会計	国民健康保険事業	879,296	848,581 △3.5
	簡易水道	48,928	68,748 40.5
	公共下水道事業	381,171	— 皆減
	介護保険	848,144	917,090 8.1
	介護サービス事業	390,156	1,534,780 293.4
	後期高齢者医療	145,914	159,347 9.2
	資源ごみ処理等事業	74,216	87,766 18.3
上水道事業会計	252,896	251,872 △0.4	
下水道事業会計	—	494,791 皆増	
国保病院事業会計	1,357,353	1,375,564 1.3	
総合計	13,685,938	15,879,590 16.0	

・中山間地域等直接支払交付 金 1億9965万4千円	・町道応急補修工事ほか 9325万8千円
・多面的機能支払交付金 付金 4638万3千円	・街路灯等整備工事 7448万1千円
・環境保全型農業直接支払交 付金 1366万円	・臨時地方道整備事業 8408万円
・有害鳥獣駆除報償金 2016万8千円	・橋梁長寿命化修繕事業 1億3444万2千円
・森林環境推進事業補助金 5826万2千円	・道路ストック修繕事業 7953万円
・森林環境推進事業補助金 2947万9千円	・公園等遊具・公園施設修繕 工事 1000万円
・豊かな森づくり推進事業補 助金 2947万9千円	・里見が丘公園整備工事 4753万1千円
・森林の二酸化炭素吸収及び 削減活用基金積立金 966万円	・北星団地公営住宅解体工事 7360万6千円
・森林環境譲与税基金積立金 3588万3千円	・実施設計業務 311万3千円
・森林整備事業 8402万8千円	・塗装工事 2861万円
・水源林造林事業 2241万7千円	・老朽化が目立つ弓道場 遠的場を改修 669万6千円
・中小企業特別融資貸付金 1億9000万円	・常備消防管理経費 2億3670万7千円
・足寄ふるさと盆踊り・両国 花火大会実行委員会等補助 金 578万6千円	・非常備消防管理経費 6817万4千円
・あしょろ観光協会補助金 950万円	・足寄町學習塾管理運営業務 温水プール屋内照明LED 化工事ほか 569万5千円
・地籍調査事業 7544万5千円	・足寄高等学校振興会補助金 2466万7千円
・足寄高等学校振興会補助金 5583万円	・足寄高等学校通学費等補助 金 2974万1千円
・足寄高校生海外研修派遣事 業実行委員会補助金 4454万6千円	・足寄小学校教員住宅改修工 事 502万2千円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △586万2千円	・パソコン一式、サーバー機 器一式ほか（小学校） 1798万5千円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・螺旋小学校体育館改修工事 2028万2千円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・博物館施設管理運営業務 4400万円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・戸籍総合システム改修業務 111万1千円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・不採算地区病院運営経費負 債 9800万円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・緊急自然災害防止対策事業 （川上議員質疑あり） △2億370万円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・過疎対策事業債 △5830万円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・辺地対策事業債 △5830万円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・企業版ふるさと納稅寄附金 130万円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・企業版ふるさと納稅基金積 立金 130万円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・過疎対策事業債 △5830万円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・辺地対策事業債 △5830万円
・足寄環境・店舗等整備補助金 △5830万円	・企業版ふるさと納稅寄附金 （川上議員質疑あり） △5830万円



老朽化が目立つ弓道場  
遠的場を改修

## 令和5年度 各会計別補正額

(令和6年3月14日現在)

(単位:千円)

会計別	補正額	総額
一般会計	△ 602,396	9,509,555
特別会計	国民健康保険事業	2,500
	簡易水道	△ 3,435
	公共下水道事業	△ 12,172
	介護保険	25,018
	介護サービス事業	△ 40,649
	後期高齢者医療	△ 4,127
	資源ごみ処理等事業	△ 2,346
国保病院事業会計	△ 78,600	1,231,585

## 【補正予算】

担金 1266万8千円  
(進藤議員質疑あり)

【一般会計】(第15号)

・足寄高等学校通学費等補助  
金 2974万1千円

・足寄高校生海外研修派遣事  
業実行委員会補助金  
4454万6千円

・足寄環境・店舗等整備補助金  
△586万2千円

・足寄環境・店舗等整備補助金  
△5830万円

# 予算審査特別委員会より

3月14日、18日、19日に開催された予算審査特別委員会（委員長・多治見亮一）では、活発な質疑が行われました。

## 【一般会計】

### 歳出

#### ○総務費

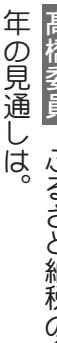
進藤委員

ほぼ同じ築年数の下愛冠コミニユーティセンターと旭町母と子の家を、それぞれ改修と再建築とした理由は。



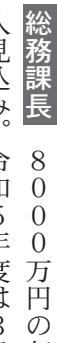
解体する旭町母と子の家

総務課長 下愛冠はこれまで改修を重ね、良好な状態を維持している。また、再建築となると規模縮小となるが、利用者から現状規模との希望があるため改修とした。旭町は不具合が多く、規模を縮小して再建築とした。



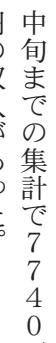
下愛冠コミニユーティセンターと旭町母と子の家

高橋委員 ふるさと納税の今年の見通しは。



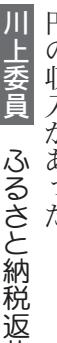
解体する旭町母と子の家

総務課長 8000万円の収入見込み。令和5年度は3月中旬までの集計で7740万円の収入があった。



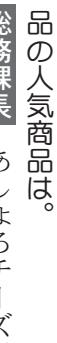
解体する旭町母と子の家

川上委員 ふるさと納税返礼品の人気商品は。



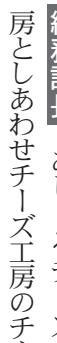
解体する旭町母と子の家

総務課長 公の施設は33箇所。改修計画は、現在策定中の総合計画の中に登載する。



解体する旭町母と子の家

センターの数と改修計画は。



解体する旭町母と子の家

田利委員 下愛冠コミニユーティセンターの内部改修の内容は。



解体する旭町母と子の家

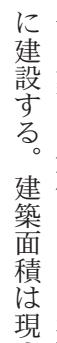
総務課長 トイレの水洗化・

個室化、床の補強、カーペット施工、玄関のスロープ化・バリアフリー化など。

田利委員 (仮称) 旭町コミニユ

二ティセンターの概略は。

総務課長 現施設（旭町母と子の家）を解体し、同じ場所に建設する。建築面積は現260m<sup>2</sup>を190m<sup>2</sup>とする予定。



解体する旭町母と子の家

60m<sup>2</sup>を190m<sup>2</sup>とする予定。

総務課長 現在のサイト数は9。サイトによつてはポイント還元もある。いろいろ所につながればと考えている。

川上委員

事業者からは返礼品の梱包・発送作業が負担という声もあるが、その対策について検討は。

総務課長 寄附者の宛名シールを事業者に送るようにしており、少しでも手間がかからぬようサポートしている。

進藤委員 ふるさと納税サポート業務の委託先を町内業者にすることとはできないか。

川上委員 移住体験住宅の管理者と利用状況は。

総務課長 びびつどコラボレーションに管理委託している。

川上委員 十勝東北部移住サポート業務の委託先を町内業者にすることとはできないか。

川上委員 移住体験住宅の管理者と利用状況は。

総務課長 びびつどコラボレーションに管理委託している。

川上委員 十勝東北部移住サポート業務の委託先を町内業者にすることとはできないか。

川上委員 ふるさと納税返礼品の人気商品は。

品開発支援補助金について、どのような開発事業を予定しているか。

川上委員 チーズ工場について、令和4年度は農協が製造

停止したためふるさと納税寄附金額が落ち込んだが、今は以前に戻りつつあるのか。

総務課長 令和3年度の出荷件数と比較して7割程度回復。

川上委員 ふるさと納税の募集サイトについて、これだけの数が必要か。

川上委員 集落支援員について、他町での実施状況は。

川上委員 集落支援員は、地域おこし協力隊と同じく、総務省から特別交付税で100%人件費が措置されるもので、

川上委員 全国的にもかなりの自治体で導入しており、十勝では清水町などで実施している。

川上委員 移住体験住宅の管理者と利用状況は。

川上委員 びびつどコラボレーションに管理委託している。

川上委員 十勝東北部移住サポート業務の委託先を町内業者にすることとはできないか。

川上委員 ふるさと納税返礼品の人気商品は。

川上委員 ふるさと納税サポート業務の委託先を町内業者にすることとはできないか。

川上委員 ふるさと納税返礼品の人気商品は。

業の集落支援員の活動とは。地域の実情に詳しきーションを図り、集落の課題や状況の把握をして、まちづくりを推進する業務を行う。

総務課長 地域の実情に詳しきーションを図り、集落の課題や状況の把握をして、まちづくりを推進する業務を行う。

川上委員 生活交通路線確立、ノウハウを持つ方に委嘱して、各集落に伺つてコミュニティシャトルによる代替交通としてタクシー運行を実施するもので、芽登本町から足寄駅間の利用が多く、令和5年度の利用は15回。利用者は車を所有していない高齢の方。目的は通院や買い物、入院中の家族の面会など。

川上委員 市街地と芽登・上士幌間のバス廃止による代替交通としてタクシー運行を実施するもので、芽登本町から足寄駅間の利用が多く、令和5年度の利用は15回。利用者は車を所有していない高齢の方。目的は通院や買い物、入院中の家族の面会など。

出展料の支出、住宅・求人情報のホームページ掲載など。

川上委員 生活交通路線確保運行業務について、利用状況、利用者の年代、目的は。

川上委員 市街地と芽登・上士幌間のバス廃止による代替交通としてタクシー運行を実施するもので、芽登本町から足寄駅間の利用が多く、令和5年度の利用は15回。利用者は車を所有していない高齢の方。目的は通院や買い物、入院中の家族の面会など。

期が秋頃と決まっている。また、運行経路等は運輸局の審査・許可が必要で、すぐに変更することは難しい。

**川上委員** 賦課徴収費手数料の支払先と減少した理由は。

**住民課長** 窓口支払手数料や振込手数料など銀行に支払うもの。昨年は3年ごとに実施する路線価の修正業務があつたため、その分を減額した。

## ○ 民生費

**早瀬川委員** 現在の緊急通報装置はボタンを押すシステム

だが、緊急の場合はボタンがある所まで行けないので。

**福祉課長** ペンダントタイプのボタンもある。

**早瀬川委員** 今は外にも持ち出せるような携帯型の新製品もあるが、今後変更の予定はない。

**福祉課長** 情報収集し検討したい。

**高橋委員** 軽費老人ホーム施設改修費補助金の内容は。

**福祉課長** ケアハウスの浴室の天井、換気装置、窓枠の取替等の改修並びに特殊浴室の改修等を見込んでいる。

**高橋委員** 今後継続してケアハウスに補助金を出すのか。

**町長** 基本は法人の中での経営

すべきだが、建設時の経緯もあり、施設の改修については一定の補助は必要と考えている。

**高橋委員** 町内に新しい施設を建設する考えは。

**町長** 今のところは現在の施設の長寿命化を図る方針。

**進藤委員** 軽費老人ホーム経営安定資金補助金について、補助金額の算定根拠は。

**進藤委員** 母子健康手帳のデジタル化の内容は。

**福祉課長** スマートフォンのアプリを使って母子健康手帳の管理を行うもの。

**町長** 収支を計算した中で、赤字にならずに運営できる最低限の額とした。

**進藤委員** ケアハウスについて、組織としての問題点などを把握しているか。

**町長** 施設長等から一定程度度話を聞いている。

**早瀬川委員** 帯状疱疹不活化ワクチンは2回接種が必要だが、その2回分の半額を助成するということができる。

**福祉課長** 最大2万円を上限として、2回分の半額を助成。

**早瀬川委員** 墓地内の除雪は。

**住民課長** 車両が入れる所までは除雪しているが、個々のお墓の所まではやっていない。

**進藤委員** 伴走型相談支援事業の実績と内容は。

**福祉課長** 出産12名、育児17名が該当。妊娠時における困りごとや出産後の育児に関する相談等に対応するもの。

**進藤委員** 産後ケア事業の内容、利用実績、利用料は。

る方を助産師がサポートするもので、通所型と訪問型がある。管内の助産師がいる事業所に委託して実施。訪問型を12名が利用。自己負担額は1回につき200円。令和6年度からは無償化の予定。

**進藤委員** 母子健康手帳のデジタル化の内容は。

**福祉課長** スマートフォンのアプリを使って母子健康手帳の管理を行うもの。

**町長** 収支を計算した中で、赤字にならずに運営できる最低限の額とした。

**進藤委員** 母子健康手帳のデジタル化の内容は。

**福祉課長** スマートフォンのアプリを使って母子健康手帳の管理を行うもの。

**町長** 収支を計算した中で、赤字にならずに運営できる最低限の額とした。

**進藤委員** ケアハウスについて、組織としての問題点などを把握しているか。

**町長** 施設長等から一定程度度話を聞いている。

**早瀬川委員** 帯状疱疹不活化ワクチンは2回接種が必要だが、その2回分の半額を助成するといふことである。

**福祉課長** 最大2万円を上限として、2回分の半額を助成。

**早瀬川委員** 墓地内の除雪は。

**住民課長** 車両が入れる所までは除雪しているが、個々のお墓の所まではやっていない。

**進藤委員** 伴走型相談支援事業の実績と内容は。

**福祉課長** 出産12名、育児17名が該当。妊娠時における困りごとや出産後の育児に関する相談等に対応するもの。

**進藤委員** 産後ケア事業の内容、利用実績、利用料は。

することができなかつたため。遺していただいている。

**○ 農林水産業費**

**二川委員** 堆肥舎長寿命化対策事業について、次年度以降も継続するのか。

**経済課長** 令和5年度に実施した調査において、危険度が高いと判定された堆肥舎について、改修の詳細設計を行うもので、令和6年度までの事業である。

**二川委員** 詳細設計後の改修に係る補助金は。

**経済課長** 今のことろ適当な補助制度がないため、設計の部分を北海道と町で負担することとした。

**二川委員** 詳細設計後の改修に係る補助金は。

**経済課長** 今のことろ適当な補助制度がないため、設計の部分を北海道と町で負担することとした。

**二川委員** 多面的機能支払交付金対象の農業者で組織する団体数は。

**絏済課長** 協定の集落を対象とし、現在は13集落ある。

**二川委員** 多面的機能支払交付金対象の農業者で組織する団体数は。

**絏済課長** 協定の集落を対象とし、現在は13集落ある。

**二川委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

遣していただいている。

**早瀬川委員** オンネット野営場の入込客数は。

1～12月までで約30万人。登山ブームもあって多くの方が訪れており、コロナ禍前の状況にかなり戻つてきつつある。

**○ 土木費**

**進藤委員** コロナ明けのアウトドアブームの変化は。

**経済課長** 予測は厳しいが、海外から雌阿寒岳登山に来る方も増えている。

**川上委員** 内看板を郊南の国道沿線に設置するとのことだが、交差点の所には設置しないのか。



アウトドア観光の拠点  
UP! オンネット

## ○ 商工費

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。

**川上委員** 地域活性化起業人制度とは。



# 一般質問 4議員が登壇

一般質問の質問内容及び答弁内容は要約しております

## 足寄町の景観を良くする」とについて



矢野利恵子 議員

した法人の所有物である。

行政区域が本別町であるこ

とから、本町には解体等を求

める法的な権限がない。しか

し、芽登方面から足寄市街地

足寄のまちを見渡せる富士見台に、壁が壊され

鉄骨のむき出しななつている

旧富士ドライブインの廃墟が

建つていて。建物は町外の業

者が所有し、土地は本別町の

町有地だと聞いている。本別

町にも所有者にも影響はない

が、その下の足寄町にとって

は非常に印象が良くない状況

となつていて。町民からも何

とかならないかの声が多く寄せられている。

足寄町を含め関係者が話合

いを持つて、この廃墟問題を

解決すべきではないか。

町長 旧ドライブインの建物

については、本別町の行政区

域に所在し、既に清算が完了

限がないため、本別町に対し

て解体を求めていくという形

になる。

矢野議員 本別町に求めてい

くということだが、具体的に

いつそういう行動をしてもら

えるのか。

町長 解体となるとかなり大

きな金額もかかると想像され

る。これまでも継続して話は

してきている。今後について

も引き続き要請をしていく。

建物の解体撤去には多額の

費用を要することから、直ち

に解決することは難しいと思

われるが、今後も本別町に対

して要請を続けていく。

矢野議員 積極的に足寄町か

ら本別町と話し合い、どちら

がお金を負担するか。国の予

算を使うことができないのか。

そういう詳しい話をしてもら

いたい。

町長 足寄町が費用を出して

解体するということにはなら

ない。あくまでも本別町内の

建物であって、足寄町には権

よう。工夫して、夜遅い仕事の方を入れる日を設定することはできないか。

②温泉の湯の温度が日によつて高すぎたり低すぎたりする。

また、駐車場の車止めが低す

ぎて車輪が乗り越えてしまい

危険であるなど、利用者が使

い勝手が悪く困っていること

に迅速に対処すべきでは。

町長 1点目の「営業時間の

変更」についてだが、足寄町

1日から3年間の指定管理者

として株式会社オカモトに管

理運営をお願いしている。

現在の利用時間は、条例施

行規則において「午後1時か

ら午後8時」と規定している

が、町長が必要と認めるとき

は利用時間を変更することが

できること、指定管理者が利

用時間変更する場合は町長

へ申請することも定めている。

新たな人員の確保や人件費の増など、多くの影響が出てくる。営業時間の変更について

は、現段階での変更是難しい。

利用者の意見はいろいろあ

るけれども、ちょっとした工

夫の中でできるようなものが

あれば、意見を酌み取りなが

らやっていく。

指定管理者から毎月報告が

上がってきて、要望に対応でき

るものについては早い段階で対応している。

きるよう、今後も指定管理者との連携を図っていく。

矢野議員 将来的に営業時間

を午後1時から午後10時まで

にすることを検討してもらえないだろうか。

町長 議会ともいろいろと議論しながら決めてきた時間で

あり、まだ1年も経過していない中で、変更ということにはならない。利用者の意見も聞きながらということになる。

矢野議員 利用者が困っていることの一つに、浴室の換気

が強すぎて、洗い場がとても寒いというのがある。温度の差がありすぎるヒートショックを起こすことも危惧される。

町長 換気については、温度調整しながら換気扇を回す機械を今年の予算の中でつける。

利用者の意見はいろいろあ

るけれども、ちょっとした工

夫の中ができるようなものが

あれば、意見を酌み取りなが

らやっていく。

指定管理者から毎月報告が

上がってきて、要望に対応でき

るものについては早い段階で対応している。

# 人口減少対策について



**川上議員** 過去3年間の出生者数と転出入者数は。

かわ 川上 じゅういち 議員

## 本町の出生者数・転出入者数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
出生者数	28人	35人	35人
転入者数	239人	238人	184人
転出者数	284人	292人	272人
転入者-転出者	△45人	△54人	△88人

**川上議員** 過去3年間の移住・定住対策の実績（人数と職業）と今後の対応は。

**町長** 移住相談窓口が関わり移住した方が17人。職業は、農林業関係が6人と最も多く、次いで地域おこし協力隊が4人、その他はハンターやホテ

ル業務など。また、移住相談窓口が関わらずに、町が募集して直接応募・移住した方が6人いる。

今後の対応については、引き続き、移住を検討されている方へ情報を発信し、移住体験住宅の活用などにより足寄町での生活を体験していくだけとともに、就職先や住まいなどの相談に応じることで、移住者の獲得に努めていたいと考えており、移住等サポート業務を委託している一般社団法人びびつどコラボレーションとも連携を図っていく。

**川上議員** 女性の流出を止める施策について。

**町長** 地方は都市部と比べると就職先が限られるため、転出を止めることは難しいと思われるが、少しでも流出を減らし、人口減少の抑制を図つていかなければならない。そのためには、ある程度の人口減少を前提としつつ、町民の皆様に住み続けたいと思っていただける活力ある地域づくりを進める必要があると考えている。

令和5年度においては、町長とのふれあい懇談会やまちづくりアンケートなどを実施したが、今後も様々な機会を把握するとともに、仕事と子育てが両立できる環境づくりを図るため、これまで取り組んできた子育て支援策を継続し、まちづくり活動支援補助金による住民の地域活性化につながる活動支援や、多様な雇用の場創出に向けた企業立地促進などに取り組んでいく。

**川上議員** 女性を増やすため、都会からシングルマザーを呼ぶことはできないか。

もし、足寄に来てくれたなら、母親は子育て支援策により経済的負担が軽くなるし、足寄町からすると子どもが増えるので、保育所や学校の人数低下による影響の緩和、あわせて担い手不足の関係でもありがたいことだと思うがどうか。

**町長** 例えば子育て支援が十分整っている、また人手不足もあって働く場所もあると、都会では大変けれども、田舎ではひとり親世帯に優しく

**川上議員** 子育て支援事業の効果と今後の対応は。

**町長** 本町では様々な子育て支援策を実施しており、先般取りまとめた第7次総合計画策定に伴うまちづくりに関するアンケート調査において、出産・子育て環境の充実や支援の満足度の問い合わせ、「やや不満」と回答された方の割合は約9%と少ないことから、一定の効果があるものと考えている。

今後の対応については、引き続き、移住を検討されている方へ情報を発信し、移住体験住宅の活用などにより足寄町での生活を体験していくだけとともに、就職先や住まいなどの相談に応じることで、移住者の獲得に努めていたいと考えており、移住等サポート業務を委託している一般社団法人びびつどコラボレーションとも連携を図っていく。

**川上議員** 女性を増やすため、都会からシングルマザーを呼ぶことはできないか。

もし、足寄に来てくれたなら、母親は子育て支援策により経済的負担が軽くなるし、足寄町からすると子どもが増えるので、保育所や学校の人数低下による影響の緩和、あわせて担い手不足の関係でもありがたいことだと思うがどうか。

ただ、足寄町の人口が減っていくのを防いでいくには、ひとり親世帯だけでなく、いろいろな分野で対応を考えいかなければならない。全体として今後の人口減少対策、足寄町の人口減少抑制をどうしていくのか、検討を進めていきたい。



充実した子育て支援策で「安心して子育てできる町」をアピール

# 人口減少対策としての農業施策について



さかき ばら み 深 ゆき 雪 員議員  
榎原議員

## 農業施策について

榎原議員

離農跡地を賃貸で

借りて地代を払い続けていて、会連合会において、耕作者自ら農地を所有し営農する自作

いつまでも自分のものにならない。農業資材費が高騰して収支が赤字となり、負債が増えた財務内容はさらに悪化していく。そのようなことでは、住みたくても住めなくなる。

転出者が多いのは、そのことが最も理由だと思われる。

農地の交換分合や、速やかな農地売買を実現させて、現

在営農中の農業者が将来希望

持てる事業の実施について

所見を伺う。

農業委員会、足寄町農協、農業共済組合十勝北部支所、農業改良普及センター十勝東北部支所で構成する足寄町農業再生協議会において、研修や農協と、この三つの体制を整え直さないといけない。新たな人が入らないと農家は減るばかりである。離農者が出るのにあわせて速やかに受け入れていくことができれば、農家戸数は少なくとも横ばいは維持できる。三者に農業者を含めた四者の役割分担を明確にして連携を図り、町を挙げて新規就農者の受け入れを進め、農家戸数減少に歯止めをかけたいいただきたい。

**町長** 本町では平成13年9月に2戸の新規就農者を受け入れた以降、本年度の2戸を含め23戸が本町に移住され、営農活動を行っている。新規就

一般社団法人びびつどコラボレーションは、移住・定住促進に関する事業を展開しており、移住に関する実績も豊富なため、就農希望者の情報共有等を図り、スマートな受入れに努めていく。

町長 農業者から交換分合の事業を実施してほしいとの要望はない。北海道における交換分合も、平成29年度を最後に実施している市町村はない。実施していない理由としては、交換分合を要望する農業者がいない、補助事業がない、市町村の財政状況が厳しい、誰もが納得できる農地価格の算定が困難であることが考えられる。

離農跡地の賃貸の件については、確かに農業者から長年賃借しているが、所有者が売つてくれないとの話を耳にする。

十勝管内の農業者からも同様

**榎原議員** 行政執行方針の農業施策の推進の中で挙げていた「家畜伝染病予防対策」に関連し、大規模草地において伝染病が発生したこと、草地を馬産利用に開放するなどの提言について所見を伺う。

町長 令和4年10月に本町において発生した家畜伝染病は、生産者、関係機関の尽力もあり、昨年12月4日の最終検査をもって対策終了となつた。

牧再開に向けて、指定管理者である足寄町農協が関係機関

と協議を進めている。

家畜伝染病発生は、生産者にとって経済的、精神的に大きな負担となることから、今後も発生させない環境づくり、万が一発生した場合の初動方針等の徹底など、関係者が一丸となつて取り組んでいく。

の意見があり、十勝農業委員会連合会において、耕作者自ら農地を所有し営農する自作農主義という基本的な考えに立ち、農地を売った際の譲渡所得税の特別控除額の引上げ

農家所有農地の固定資産税の税制上の措置を、重点要請の一項目として掲げ、毎年5月と11月に北海道選出国会議員等へ要請活動を行っている。

町としても、農業経営の維持と安定に向けた新たな制度等の創設を含め、必要な施策の実施を国等に要望していくたい。

町長 令和4年10月に本町において発生した家畜伝染病は、生産者、関係機関の尽力もあり、昨年12月4日の最終検査をもって対策終了となつた。

牧再開に向けて、指定管理者である足寄町農協が関係機関



安心して利用できる  
大規模草地育成牧場に

# 防災力の向上・強化に向けて



二川 靖 議員

する寝具や発電機などを備蓄している。

新聞報道された備蓄食糧以

外に、フリーズドライ味噌汁・スープを3415食、焼き鳥缶詰を1800食備蓄している。なお、記事に記載された乾パン804食は、5年保存可能なソフトパンの数で、令和5年度にも新たに購入していることから、現在は1104食となっている。

二川議員 本年2月に足寄町防災ガイドマップ（改訂版）が町内に配布された。ハザードマップの市街地区について、災害別に指定避難所、指定緊急避難場所が自治会によって違うことで、町民全体が理解できないところもあり、今後町や各自治会での努力も必要になってくる。

2月1日に管内市町村の非常食・非常電源備蓄状況、2月2日には災害時の暖房用資機材・就寝用資機材の備蓄状況について新聞報道があり、「その他・特記事項」が空欄だつた。その他の備蓄品は多數あると思うが、その内容は。

町長 平成28年度の大雪災害の避難者数を基に、400人に対して3日分の食糧及び飲料水を提供するための備蓄を行ふとともに、避難所で使用

二川議員 備蓄食糧が400人の3日分については、検討する価値もあると思うが。総務課長 公助としてできる食センターでの炊き出し等も

可能であり、協定を結んでいるところからの支援や、購入もできると思っている。

また、公的なものだけではなく、まずは自助、共助もしていただくということも考え、備蓄をしている。

二川議員 自主防災組織はどうのくらいできているか。

総務課長 昨年89自治会のうち、規約を作成しているのが20、防災要員を指定しているのが56自治会で、全部で76の自治会で対応いただいている。

二川議員 町長の行政執行方針の中で、避難所対策としてポータブルストーブの購入と夏季におけるクーラーの借上げが示されたが、台数と配置先は。

町長 令和6年度当初予算では、電池式石油ストーブの購入を20台、大型スポットクーラーの借上げを2台と計画している。発生した災害の状況によつて開設する避難所は異なることから、防災倉庫で一括保管し、必要に応じて各小学校の体育館や総合体育館などへ運搬し、使用する計画などを行つた。スポットクーラーは、避難所を開設した場合に、

必要に応じ借上げし、配置したいと考えている。

二川議員 水道管の老朽化解消に向け計画的に進められていくと思うが、耐震管、耐震適合管の埋設状況はどのようになっているのか。

町長 導水管、送水管など、基幹管路と呼ばれる水道管延長は約8・5km。そのうち、

町長 導水管の老朽化率は、平成20年3月に足寄町耐震改修促進計画を策定した時点で68・4%となつていて、

二川議員 大きな問題は老朽化した空き家の取り壊しが進んでいないこと。町のほうに要望は来ていないのか。

二川議員 耐震管等を100%にするには何年後になるのか。

二川議員 支管を含めると、100kmを超える延長があり、それを全て置き換えるという計画は現時点ではない。

二川議員 家屋等の耐震調査について、公共施設はされてゐると思う。また、耐震化された一般住宅を除き、空き家を含む老朽化した家屋についての耐震診断は必要と考へる。これまで、老朽化した空き家等に耐震診断を行つたことがあるのか、町全体の住宅の耐

震化率はどのくらいになつているのか。

町長 これまでに老朽化した空き家等に対しても町が主体となつて耐震診断を行つたことはない。

二川議員 総務課長 総合計画のアンケート中、自由記載で空き家や周辺の雑草について対応してほしいとの意見はあつた。

二川議員 防災ガイドマップも配布したが、災害が起きたときに自分の身を守るのは自分なので、まずは自助が大事。その後、近隣の人たちの助け合いなど、共助が必要になつてまずは考えていただく。公

助については議会の皆さんとも相談をしながら考えていく。

二川議員 備蓄食糧が400人の3日分については、検討する価値もあると思うが。総務課長 公助としてできる食センターでの炊き出し等も

震化率はどのくらいになつているのか。

## 農作物の生育状況、工事の執行状況、町道の維持管理を調査

### 総務産業常任委員会

総務産業常任委員会（委員長・多治見亮一）は農作物の生育・作況状況、土木・建設工事の執行状況及び町道の維持管理についての2件を第1回定例会で調査報告しました。

#### 農作物の生育・作況状況について

「小麦・馬鈴しょは豊年作、豆類・てん菜は高温多湿の影響により品質低下」

**調査日**  
令和5年7月19日、8月31日、11月30日、令和6年2月6日

農作物の生育状況について、前段に本年度における町全体の農作物について説明を受け、令和5年7月19日に現地調査を実施し、更に生育・収穫状況等について令和5年8月31日・11月30日及び令和6年2月6日

月6日の3日間、担当課から説明を受け、延べ4日間の調査を終えた。  
4月から7月中旬までは気温は平年より高く推移し、降水量・日照時間もほぼ平年並みと天候に恵まれ、7月の現地調査時点では、農作物の生育は順調に推移し、豊作が期待される状況であった。しかし、7月から9月の気温が最高気温・最低気温ともに例年を大きく上回り、8月上旬、中旬、9月上旬に降水量が平年を上回ったことにより、8月以降の高温多湿の



作況状況の説明を受ける委員

状況がそれ以降の生育不良等など大きな影響をもたらした。結果、小麦と馬鈴しょは平年以上の収量で豊年作であったが、豆類とてん菜は高温多湿の影響で病害等が発生し品質低下となり、不良作となつた。

令和6年も長期予報によると、昨年同様気温が高めに推移するとの予報であることから、適期防除の実施や、各関係機関・団体による営農技術指導等による猛暑対策の徹底を望むとともに、令和6年はみなさんで喜び合える豊穣の秋を期待したい。

### 土木・建設工事の執行状況及び町道の維持管理について

「問題なく適正に執行無事故無災害での

#### 事業執行を

##### 調査日

令和5年11月30日、令和6年2月6日

##### 調査結果

土木・建設工事の執行状況について、前段に本年度の町全体の発注工事及び発注予定工事の概要や進捗状況の説明を受け、令和5年11月30日に現地調査を実施した。

現地調査は、橋梁長寿命化修繕（ポン沢橋・一の沢橋）工事及び里見が丘公園整備（幹線園路3）工事の2か所で実施し、特に問題なく施工されていると確認し、現地調査を終えた。

次に、町道の維持管理については、令和6年2月6日に除雪状況について、除雪作業等実績の説明を受け、質疑応答のち、鷹狩方面4路線、中矢方面4路線の現地調査を

実施した。

除雪状況については大きな問題はなかつたが、特定箇所に多発する吹きだまりについては防雪柵設置等について、費用対効果も踏まえた上で検討すべきとの意見も出ていた。

本年度は今のところ、例年より降雪量も少なく、大きな障害となつていらないようであるが、現場では安全第一を最優先に、無事故、無災害にて事業執行にあたられることを願いたい。



橋梁長寿命化修繕（一の沢橋）工事を視察

# 所管施設を調査

財政収支の均衡を保ち  
長期的な計画で管理運営を

## 文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会（委員長・川上修一）は所管施設の現状と課題について第1回定例会で調査報告しました。

### 所管施設の現状と

#### 課題について

調査日

令和5年7月14日、8月31日、  
10月19日、11月28日、11月30日、  
令和6年2月19日

#### 調査結果

##### ①足寄火葬場・足寄靈園

火葬場の新築後、火葬炉の修理など適宜実施されており特段問題はない。

靈園については、近年墓じまいをする人が増え、空きスペースが出てきており、今後除草等の管理が増していくと考えられる。

町としても近い将来、合祀墓（合葬墓）の検討を進めなければならないと考える。

墓（合葬墓）の検討を進めなければならぬないと考える。

び足寄町との協議となる。

#### ④町民センター（図書館）

平成30年11月18日に足寄町図書館「ルイカ」が開館してから5年が経過した。

町内には複数の読み聞かせサークルがあり、文部科学大臣表彰や北海道表彰を受賞している。

図書館が多くの中年市民に学習の機会を提供しており、子どもたちの読書感想文を読んで、その役割は大きなものがあると感じさせる。

団塊の世代が高齢者になり、当町の高齢化比率が40%を超えてきていることから、高齢者に学習の場を提供していくことは社会教育の重要な課題と考える。この現状に即し、大きな活字の本やDVDなど

の電子データを取り揃え、学習席の提供など、利用者側の要望に合わせた設備を備え、優れた図書館の役割を提供している様子がうかがえた。

②町営温泉浴場

オープンして1年未満であり、指定管理者と町が連携を取り町民に喜ばれる温泉となるよう努めさせていただきたい。

③し尿処理場

昭和45年に完成、53年が経過し著しく老朽化している。

平成18年4月し尿処理場の操業を停止し、運搬業務の中間施設として利用している。今後多額の修理費がかかるとすれば、収集・運搬業務について検討をしていかなければならぬ。また、解体撤去費も多額の経費を要すると考えられる。この経費の支出については、解散している池北三町行政事務組合（池北3町净化センター組合）で負担するこ

とにになり、本別町、陸別町及び足寄町との協議となる。

が、利用される方を増やすための案を検討する必要がある。

#### ⑤生涯学習館

率直な印象としては、建物の老朽化を感じさせ暗い印象なっているが、利用度が低く

があり、町民が活発に利用している雰囲気が感じ取れなかつた。しかし、災害時の避難場所としての機能を併せ持つところことで大切な施設である。

運営を考えたときに、経費削減のため検討が避けて通れない課題だと考える。

#### ⑥総合体育館

トレーニングルーム内の設備が充実しており、近隣の他町村と比べても豊富な機器が整っている。また温泉熱暖房を利用していることにより、他町村と比べて、冬季の暖房費が低く抑えられ、将来に向けて持続可能性の高い公共サービスを提供できている。

総合体育館を日頃利用されない人も多く、まだ利用者を増やせる状態であり検討が必要である。

⑦温水プール

大きなサイズの温泉ジャグジーがついている公営プールは近隣の他町村では見当たらぬ、レジャーの要素を持つているところが強みと言える。

温水プールを日頃利用されない人が多く、まだ利用者を増やせる状態である。プ

ール2階部分が観覧スペースになつてゐるが、利用度が低く

遊休スペースとなつており閑散としている。

プールの熱源に重油ボイラेを使つてゐるが、持続可能なことで大切な施設である。

運営を考えたときに、経費削減のため検討が避けて通れない課題だと考える。

#### ⑧子どもセンター

保育業務支援システム「コドモン」の利用開始に向けて準備が進められている。

システムの導入により、保育業務の充実と保護者の利便性の向上、かつ安心・安全な保育を提供し、保育士の事務の効率化が図られることとな

る。

導入による具体的な効果としては、登園状況の把握、職員間での確実な情報共有、事



保育業務支援システム「コドモン」の説明を受ける委員

務作業の簡素化・ペーパーレス化により、園児と向き合う時間の確保などがあげられ、

導入による成果が期待される。

本システムは、保護者全員がスマートフォン所持の必要

があるが、これについては全員が所持しており、また運用に協力的であることから支障はない。これにより保育士の業務過多が軽減され、保育の業務サービスが保護者へ還元されるものと思われる。

**⑨障害者地域生活支援センター**  
当該センターは、障がいのある方やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう福祉サービスの調整を行う「基幹相談支援センター」と、賃貸式の住まい「福祉ホーム」の機能を併せ持つ地域生活支援拠点施設である。

福祉ホーム（12室）はすべて個室で、バストイレ付で日当よりも良く、入居者にとって素晴らしい環境になつてゐる。食事は朝・夕提供され、昼間に相談員が常駐しており、入居者が親から独立していく上で最高の環境になつてゐる。足寄町の「障がいがあつても安心して暮らせる地域づくり」

という基本理念にしつかりと合致している。

基幹相談支援センターのコンセプトは「断らない相談所」である。障害者はもちろん、

悩みを持っているすべての人

の相談に応じている。開設して間もないため、まだ広く町民に知られていないが、障害者のため、弱者救済のためにも、今後の活躍が大いに期待される。

**⑩地域支え合いセンター・生**

活支援長屋・認知症対応型

共同生活介護事業所

むすびれつじは「小規模多機能型居宅介護施設」「地域交流施設」「認知症高齢者グループホーム1」「認知症高

齢者グループホーム2」「生等複合施設で、足寄町の高齢者福祉の拠点となつてゐる。

館内は清潔で、カラマツ材の木のぬくもりが安らぎを与える、高齢者にとってとても心地良い環境が整つてゐる。

慢性的な介護士など職員の

人手不足で、施設利用者の受け入れが十分にできていない

状況であり、人材確保が喫緊

の課題と考へる。

## ⑪老人憩の家

憩の家は、高齢者福祉施設の位置づけとともに、災害等

の避難場所にも指定されてい

る。

施設の利用については、中央老人クラブをはじめ各種サークルの利用と、毎週火曜日には婦人ボランティアによる手作り昼食の提供等、幅広く利用されており、建て増しした部分は新しく使い勝手が良いように感じた。備品の椅子は比較的新しいが、テーブルが重いので、お年寄りが手軽に使いやすい物が望ましい。また、昨年は猛暑からの避難所として、エアコンのある施設としても活用されている他、

様々な利用がされていることから、今夏に向け広報などで広く町民に対し、周知することを強く望む。

**⑫旭町ふれあいプラザ**

現在利用しているのは木彫り・陶芸の2サークルで会員

数は、木彫り2名・陶芸9名

（60代～80代）である。活動

は、月曜～金曜の9時～15時

で個人が自由に来館している。

会員が、高齢化により減少しており、会員数を増やすた

めにも平日の利用だけでなく、土曜日や日曜日の利用について検討を望む。

本町では、令和4年3月に公共施設等の全体を把握し、中長期的な視点を持つて、改修・更新、長寿命化などを計画的に推進するため「足寄町公共施設等総合管理計画（令和3年度改訂版）」を策定しております。本計画に基づき「公共施設等マネジメント」を推進しているが、公共施設の運営は住民サービスに直結することから、町民のニーズと提案を聞き取り、外部委託を含めた民間活力を取り入れていく必要がある。財政収支の均衡を保ち長期的な計画の中に組み入れ、管理運営の方策を探っていくことが課題と思われる。



陶芸サークルの活動を視察

べく努めていることがうかがえた。少子高齢化と人口減少が続いている中、町財源が限られており、今後は従来どおりの運営が難しくなつていくものと考えられる。

本町では、令和4年3月に公共施設等の全体を把握し、中長期的な視点を持つて、改修・更新、長寿命化などを計画的に推進するため「足寄町公共施設等総合管理計画（令和3年度改訂版）」を策定しております。本計画に基づき「公共施設等マネジメント」を推進しているが、公共施設の運営は住民サービスに直結することから、町民のニーズと提案を聞き取り、外部委託を含めた民間活力を取り入れていく必要がある。財政収支の均衡を保ち長期的な計画の中に組み入れ、管理運営の方策を探っていくことが課題と思われる。

今般視察した施設は、町民の生活に密接にかかわる施設であることから、運営上の課題解決に努め、広く町民に利用されるよう取り組まれることを望む。

# 議会報告会・町民との意見交換会

## 我が町の今と未来を語ろう

### 町内4か所で開催



平成23年施行の足寄町議会総合条例で定めた「町民との多様な意見交換の機会」の一環として、議会報告会・町民との意見交換会を11月16日から22日にかけて4会場で開催しました。

広報広聴常任委員会主催の議会報告会は今回で10回目となり、コロナ禍を経て4年ぶりの開催となりました。

今日はテーマを定め、座席

も従来の対面方式から車座方

式に変更するなど開催方法を刷新し、参加者が発言しやすい雰囲気づくりと内容の充実を図りました。

当日は「議員のなり手不足」「高速道路」「特養建設」「エネルギー」の4つをテーマにご意見を頂いたほか、地域の課題や要望について意見交換を行いました。

頂いたご意見・ご要望は、議会から町執行部側へ伝え、情報共有するとともに、今後の議会活動に生かしてまいります。

各会場で出された主なご意見・ご要望等を一部抜粋して紹介します。また、町からの回答についても併せて報告します。

- 議員のなり手不足
- 議員の活動が子ども達にも分かる取り組みができるといふと、未来に繋がると思う。
- 多方面から、足寄で酪農をやりたいといふ若者が来ており、足寄の将来を彼らに託せると希望を持つている。議員がどれだけの意見を持ちながら活躍するのか、町



#### 芽登集落センター会場

[11月16日開催 6名参加]

- 議員のなり手不足
- 議員の活動が子ども達にも分かる取り組みができるといふと、未来に繋がると思う。
- 多方面から、足寄で酪農をやりたいといふ若者が来ており、足寄の将来を彼らに託せると希望を持つている。議員がどれだけの意見を持ちながら活躍するのか、町



#### 上利別基幹集落センター会場

[11月20日開催 7名参加]

- 議員のなり手不足
- ある程度の議員報酬は必要。もう少し専念できるようないい。足寄の将来を彼らに託せると希望を持つている。議員がどれだけの意見を持ちながら活躍するのか、町

民とのパイプを築いていく方が、今後に大きく作用していく。町全体でいろいろなイベントを通して、足寄に行つてみたい、住んでみたいという人が増えるのかなと思う。

#### 人口減少対策

- ゼロカーボン、SDGs、一丁などの言葉が取り沙汰されているが、流行りにとらわれずに、自分達の町でできること、町の良さを引き出していくような施策を。

#### エネルギー

- 郵政としては郵便局の数は減らさないと言つていのうが、雇用の場がないと郵便局の形態も簡易局等に変わつていくと思う。人口を増やすような施策をぜひやっていただきたい。

- 移住者の話を聞くと、まず住む場所に困ると聞く。空いている公営住宅などを利用できないか。また、リモートワークにも対応できるようWi-Fi環境の整備を。
- ケアハウスは無くしてはならない施設。議会に執行権はないが、議会内で調査委員会を作り、存続に向けて研究していただきたい。

将来的には考えなければならぬ。また、家業を投げ打つて議員になる方もいるだろうから、それなりの保障があつてしかるべき。



# 議会の動き

## 〈2月〉

- 6日 総務産業常任委員会  
 19日 第1回臨時会・議会運営委員会  
 文教厚生常任委員会・全員協議会  
 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関する審査特別委員会  
 22日 第1回臨時会・議会運営委員会  
 総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会  
 26日 とかち広域消防事務組合議会（帯広市）  
 十勝圏複合事務組合議会（帯広市）

## 〈3月〉

- 4日 議会運営委員会  
 5日 第1回定例会  
 総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会  
 8日 議会運営委員会  
 13日 第1回定例会・議会運営委員会  
 総務産業常任委員会  
 14日 第1回定例会・議会運営委員会  
 予算審査特別委員会・文教厚生常任委員会  
 18日 第1回定例会・議会運営委員会  
 予算審査特別委員会  
 19日 第1回定例会・議会運営委員会  
 予算審査特別委員会・広報広聴常任委員会

## 〈4月〉

- 18日 文教厚生常任委員会  
 23日 十勝町村議会議長会定例会（帯広市）  
 十勝圏活性化推進期成会委員会（帯広市）

## 閉会中の所管事務調査

常任委員会は、閉会中も引き続き次の所管事務を調査研究します。調査研究の内容は、次号以降でお知らせする予定です。

### 総務産業常任委員会

- ①足寄町地球温暖化対策実行計画について

### 文教厚生常任委員会

- ①高齢者の健康寿命の延伸について

### 広報広聴常任委員会

- ①議会広報紙の編集及び発行に関する事項  
 ②議会広報・広聴の実施に関する事項  
 ③議会広報・広聴の調査及び研究に関する事項  
 ④足寄町議会ホームページによる広報に関すること  
 ⑤足寄町議会の放映による広報に関すること

### 議会運営委員会

- ①議会運営について  
 ②議長の諮問に関する事項について

## 第2回定例会の日程

第2回定例会は6月4日開会  
 一般質問は17日からの予定です



## 足寄町議会中継のお知らせ

足寄町議会は、YouTube（ユーチューブ）でのライブ中継を行っています。

過去の動画も見ることができますので、一般質問や議案審議の様子などを詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

インターネットで「足寄町議会 ユーチューブ」を検索するか、足寄町ホームページの足寄町議会の画面から接続することができます。

## 議会を傍聴してみませんか

3月、6月、9月、12月の年4回  
 定例議会が開催されます。どちらでも、自由に傍聴することができます。



（矢野委員記）

足寄町でこういう事をやって欲しい。あの問題は町として、どのように解決していくのか。という疑問を議会的一般質問で取り上げるよう皆さんも、お近くの議員と話をしてみましょう。

「一般質問は議員だけに与えられた特権で、町としての方針や姿勢を広く公開して明らかにし、確かめる唯一の機会である」と、亡き父に言われて以来、必ず議会の一般質問はするようにしてきました。

